



2018年薄毛調査 サマリー

2018年8月20日

(株)リクルートライフスタイル
ホットペッパービューティーアカデミー

A 調査概要①

2018年 7月調査	調査目的	➤ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➤ インターネット調査										
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在薄毛である＆薄毛を気にしている										
	回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：2063人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➤ スクリーニング：2018年7月19日～2018年7月20日 ➤ 本調査：2018年7月20日～2018年7月21日										

	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回収数	134	255	353	330	359	103	103	122	134	170	2063
WB後集計対象数	180	273	322	363	345	77	89	112	148	156	2063

(人)

2017年 7月調査	調査目的	➤ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出										
	調査手法	➤ インターネット調査										
	対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在薄毛である＆薄毛を気にしている										
	回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：2063人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施										
	実査期間	➤ スクリーニング：2017年7月7日～2017年7月10日 ➤ 本調査：2017年7月18日～2017年7月21日										

	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回収数	134	268	369	339	361	103	103	111	120	155	2063
WB後集計対象数	183	292	343	379	353	55	79	104	133	143	2063

(人)

A 調査概要②

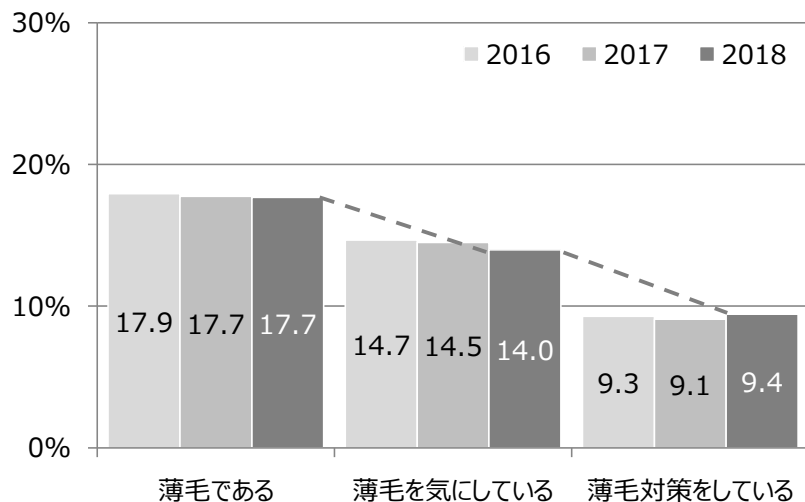
2016年
7月調査

調査目的	➤ 薄毛に関する実態や意識の把握、サロン利用活性化のヒントの導出																																																								
調査手法	➤ インターネット調査																																																								
対象者条件	➤ 全国20～69歳男女、現在薄毛である＆薄毛を気にしている																																																								
回収数	➤ スクリーニング：50000人 ※人口動態に基づき性年代を割付 ➤ 本調査：2154人 ※SCRでの出現率をもとにウェイトバックを実施 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="5">男性</th><th colspan="5">女性</th><th rowspan="2">計</th></tr><tr><th>20代</th><th>30代</th><th>40代</th><th>50代</th><th>60代</th><th>20代</th><th>30代</th><th>40代</th><th>50代</th><th>60代</th></tr><tr><td>回収数</td><td>147</td><td>315</td><td>359</td><td>374</td><td>345</td><td>103</td><td>103</td><td>103</td><td>130</td><td>175</td><td>2154</td></tr><tr><td>WB後集計対象数</td><td>153</td><td>328</td><td>374</td><td>391</td><td>360</td><td>48</td><td>83</td><td>98</td><td>135</td><td>182</td><td>2154</td></tr></table> (人)												男性					女性					計	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	回収数	147	315	359	374	345	103	103	103	130	175	2154	WB後集計対象数	153	328	374	391	360	48	83	98	135	182	2154
	男性					女性					計																																														
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代																																															
回収数	147	315	359	374	345	103	103	103	130	175	2154																																														
WB後集計対象数	153	328	374	391	360	48	83	98	135	182	2154																																														
実査期間	➤ スクリーニング：2016年7月11日～2016年7月13日 ➤ 本調査：2016年7月20日～2016年7月25日																																																								

A 薄毛人口のボリュームは？(SCR全体ベース)

- 現在薄毛の人は全体の2割弱。気にして対策をしている人は全体の1割程度。
- 女性よりも男性の方が現在薄毛である人の割合が多い。女性は薄毛である人の割合は8.6%と少ないものの、そのうち大半が薄毛を気にしている。
- いずれも経年でみてボリュームに大きな変化はない。

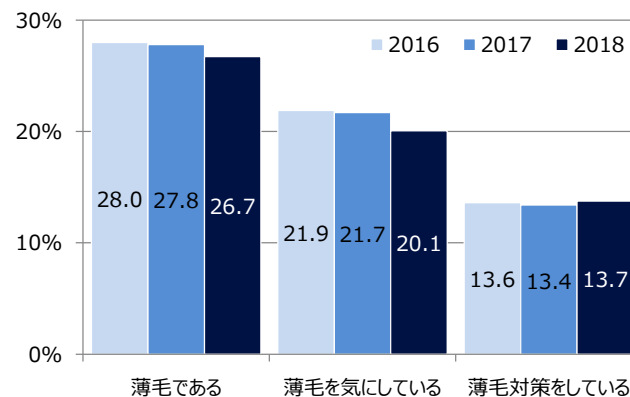
全体



2016年 n=50,000
2017年 n=50,000
2018年 n=50,004

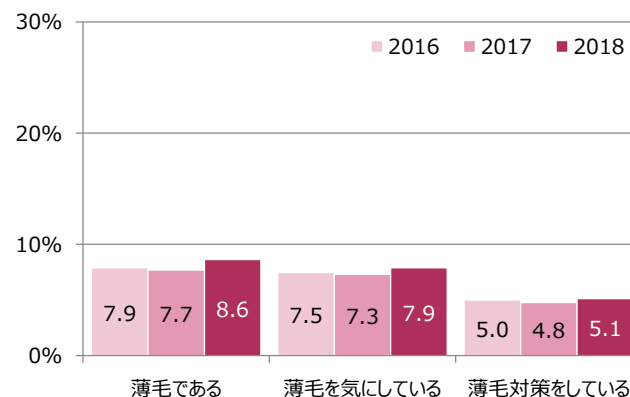
男性

2016年 n=24,981
2017年 n=25,004
2018年 n=25,005



女性

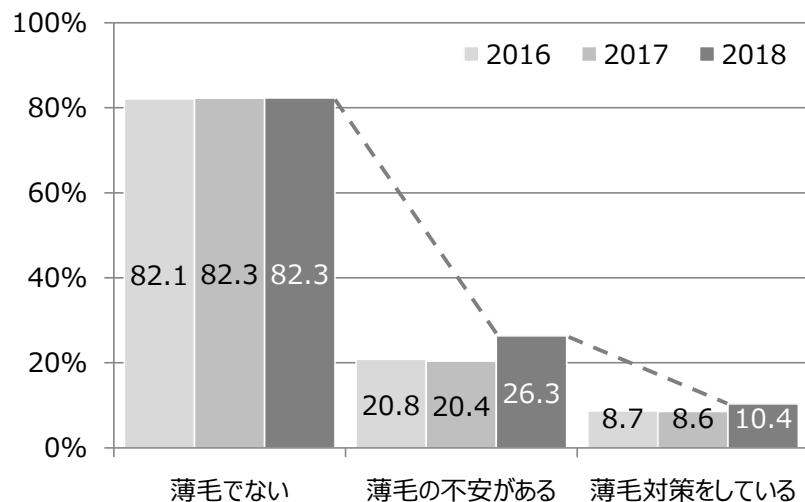
2016年 n=25,019
2017年 n=24,996
2018年 n=24,999



A 薄毛でない人口のボリュームは？(SCR全体ベース)

- 全体の26.3%は、現在薄毛ではないものの、将来薄毛になることへの不安を抱えており、10.4%は対策をしている。
- 過去調査に比べ、今回は薄毛の不安がある人が男女ともにやや多め。

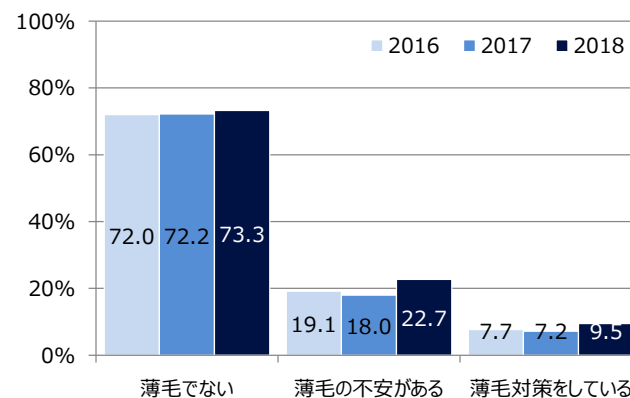
全体



2016年 n=50,000
2017年 n=50,000
2018年 n=50,004

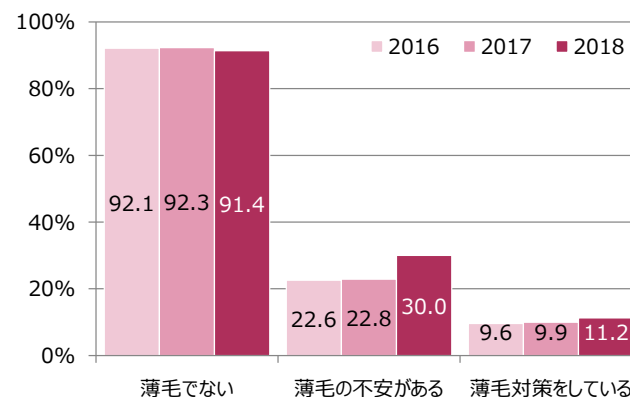
男性

2016年 n=24,981
2017年 n=25,004
2018年 n=25,005



女性

2016年 n=25,019
2017年 n=24,996
2018年 n=24,999



A 薄毛が気になり出した年齢ときっかけは？

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

- 男女ともに、薄毛が気になり出す年齢が年々早まる傾向にある。
- きっかけは男女ともに「自分で鏡を見て」というケースがトップだが、前回までと比べてスコアは減少。一方で「家族から」の指摘で気になり出したケースが増加。

年齢

気になり出した

男性

2018 平均 36.3 歳
(2016平均38.3歳、2017平均36.8歳)
2018年n=1,483/2017年n=1,549/2016年n=1,606

女性

2018 平均 37.7 歳
(2016平均41.4歳、2017平均39.9歳)
2018年n=580/2017年n=514/2016年n=548

気になり出したきっかけ

		2018 n=1483	2017 1549	2016 1606
1	[自分]鏡を見ていた時	29.7%	43.8%	47.5%
2	[他人]家族（配偶者、親、兄弟姉妹など）から	18.8%	12.8%	12.9%
3	[他人]友人・知人から	14.4%	8.8%	6.5%
4	[自分]自分の写っている写真を見ていた時	9.9%	8.3%	8.9%
5	[自分]抜け毛の量を見た時	9.0%	9.4%	7.9%

【年代別傾向】
・20代は鏡を見た時に気になり出す人が多く、60代は家族からの指摘で気になりだす人が多め

		2018 n=580	2017 514	2016 548
1	[自分]鏡を見ていた時	23.9%	38.2%	39.8%
2	[他人]家族（配偶者、親、兄弟姉妹など）から	23.1%	11.7%	12.1%
3	[自分]抜け毛の量を見た時	15.4%	15.9%	16.2%
4	[他人]友人・知人から	8.5%	7.1%	4.7%
5	[自分]自分の写っている写真を見ていた時	7.8%	6.9%	7.8%

【年代別傾向】
・20代と60代は、家族からの指摘が多め

- 男女ともに「他人の目すべて」が4～5割強でトップ。ただし、女性の「他人の目すべて」が気になる人は年々減少傾向にある。
- 前回までと同様に男性は異性の目を、女性は同性の目を気にする傾向が強いのが特徴的。

男性

		2018 n=1483	2017 1549	2016 1606
1	他人の目すべて	42.5%	38.5%	40.8%
2	職場の異性	29.3%	29.1%	21.8%
3	異性の友人	24.1%	24.0%	18.8%
4	職場の同性	22.8%	22.1%	19.2%
5	同性の友人	18.5%	17.7%	13.2%
	他人の目は気にならない	14.8%	19.1%	19.8%

【年代別傾向】

- 30代は「職場の同性・異性」「異性の友人」の目が気になる傾向が強い
- 50～60代は他人の目は気にならない人が多め

女性

		2018 n=580	2017 514	2016 548
1	他人の目すべて	54.0%	58.2%	60.8%
2	同性の友人	30.7%	27.9%	26.1%
3	職場の同性	17.7%	18.2%	15.4%
4	異性の友人	15.8%	13.4%	13.5%
5	配偶者	15.4%	15.4%	16.6%
	他人の目は気にならない	12.3%	11.4%	11.0%

【年代別傾向】

- 20-30代は「同性の友人」の目が気になる傾向が強い
- 20代は全般的に特定の誰かの目を気にしている



現在の髪型は？

- 男性は「短髪ストレート」が最も多く、次いで「坊主」「短髪パーマ」と続く。女性は「ミディアム」が最も多く、次いで「ショート」が多い。
- 男女ともに、長髪にしている人は少数。

現在の髪型

男性

		2018
		n= 1483
1	短髪ストレート（耳までの長さ）	67.4%
2	坊主（髪が残っている状態）	13.8%
3	短髪パーマ （耳までの長さ・くせ毛含む）	10.6%
4	長髪（耳より長い）	7.0%
5	スキンヘッド	0.7%
6	その他	0.6%

【年代別傾向】

- 年代が上がるにつれて、「短髪ストレート」の人が増加する

女性

		2018
		n= 580
1	ミディアム（肩までの長さ）	44.8%
2	ショート	28.5%
3	セミロング（胸までの長さ）	19.0%
4	ロング（胸より長い）	7.2%
5	その他	0.5%

【年代別傾向】

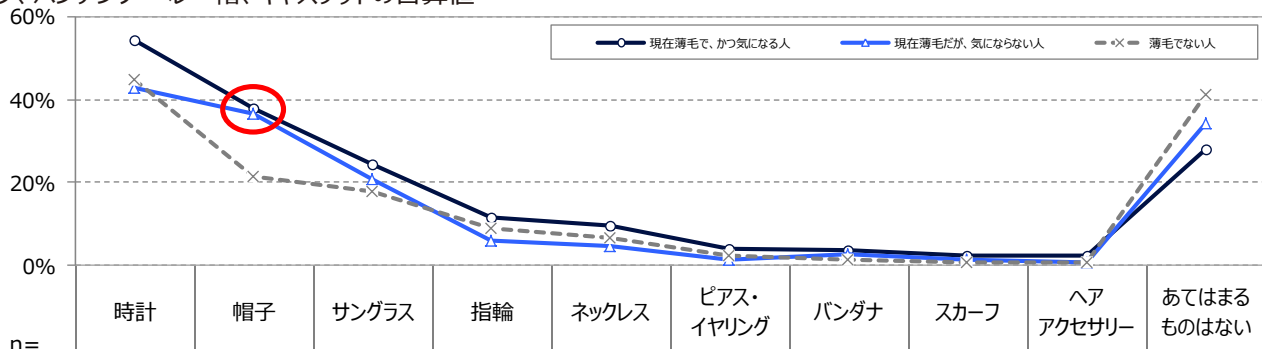
- 年代が上がるにつれて「ショート」の割合が増加。60代では「ミディアム」を逆転し半分以上が「ショート」となっている

A 普段使うファッションアイテムは？(SCR)

- 男性は、気になる・気にならないを問わず、薄毛の人の「帽子」使用率が高い。
- 女性も、薄毛が気になる人の「帽子」使用率が高い。薄毛だが気にならない人はスコアが全体的に低め。ファッション感度の低さが影響している可能性も。

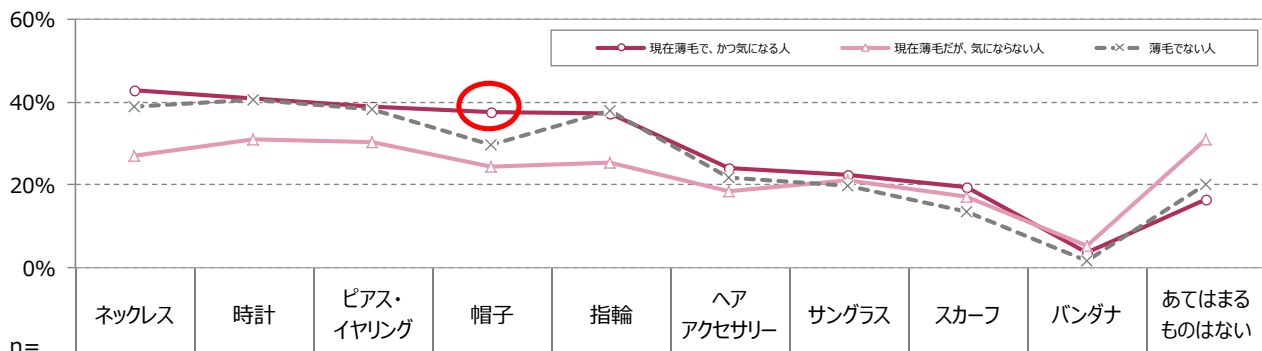
※帽子 = キャップ帽、ハット、ニットキャップ、ハンチング・ベレー帽、キャスケットの合算値

男性



n=	5,016	54.2	38.0	24.4	11.7	9.5	4.0	3.5	2.4	2.3	28.1
現在薄毛で、かつ気になる人	1,665	42.6	36.5	20.6	5.8	4.6	1.4	2.8	1.2	0.8	34.1
現在薄毛だが、気にならない人	18,324	44.8	21.4	17.8	9.0	6.5	2.4	1.2	0.8	0.7	41.3
薄毛でない人	(%)										

女性



n=	1,971	42.9	41.0	38.7	37.5	37.1	24.2	22.5	19.6	3.6	16.4
現在薄毛で、かつ気になる人	185	27.0	30.8	30.3	24.3	25.4	18.4	21.1	17.3	5.4	30.8
現在薄毛だが、気にならない人	22,843	39.0	40.6	38.2	29.6	38.0	21.8	19.8	13.4	1.7	20.0
薄毛でない人	(%)										

A 普段の洗髪に使うものは？

- 男女ともに「シャンプー」が8～9割強を占める。
- 男性は髪型の影響か、女性に比べると「シャンプー」の割合がやや低く、「ボディソープ・石鹸」の割合がやや高い。

普段の洗髪に使うもの

男性

		2018
		n= 1483
1	シャンプー	84.7%
2	リンスインシャンプー	22.4%
3	ボディソープ・石鹸	10.2%
4	洗顔料	5.8%
5	水・お湯のみで洗髪する	2.2%
6	その他	0.3%

【年代別傾向】

- 20代は、「リンスインシャンプー」「ボディソープ・石鹸」「洗顔料」が他年代に比べて高め

女性

		2018
		n= 580
1	シャンプー	94.3%
2	リンスインシャンプー	19.8%
3	ボディソープ・石鹸	6.8%
4	洗顔料	5.5%
5	水・お湯のみで洗髪する	1.7%
6	その他	1.7%

【年代別傾向】

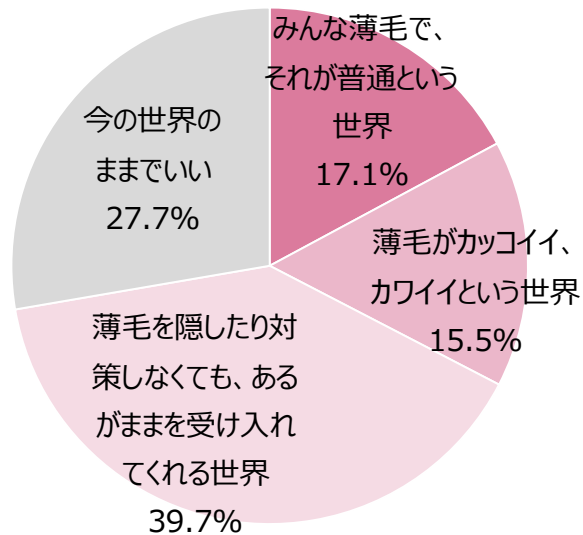
- 20－30代は、「シャンプー」の使用率が100%



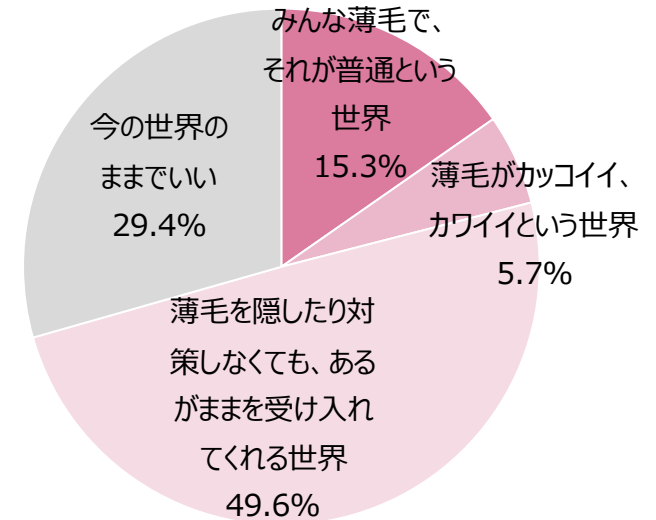
理想の世界は？

- 男女ともに最も多くの人に望まれているのは「あるがままを受け入れてくれる世界」となっており、薄毛が受容されることを理想としている。
- 女性よりも男性の方が、薄毛が「カッコイイ、カワイイ」と思われることを望んでいる。

男性 n=1,483



女性 n=580



理想の世界

【年代別傾向】

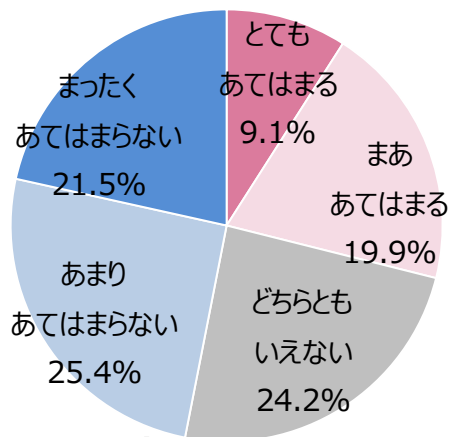
- 高年層ほど「今の世界のままでいい」と答える人が多い

A 同じ悩みの人と薄毛を分かち合うことがあるか？

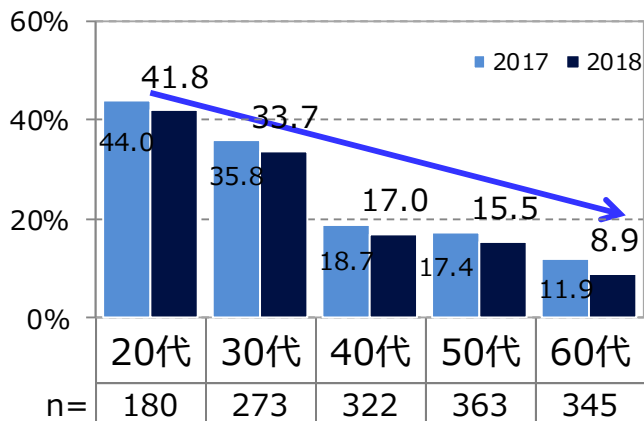
➤ 同じ悩みの人と分かち合う人は男女ともに3割程度。男性は、前回調査と同様に、若年層ほど分かち合う傾向が強く、20代は4割前後が悩みを共有している。

男性 n=1,483

＜全体＞

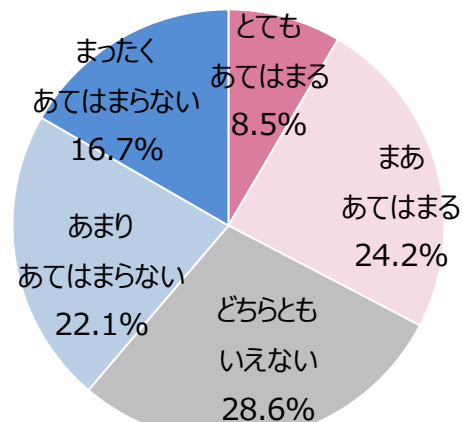


＜年代別＞ (TOP2スコア)

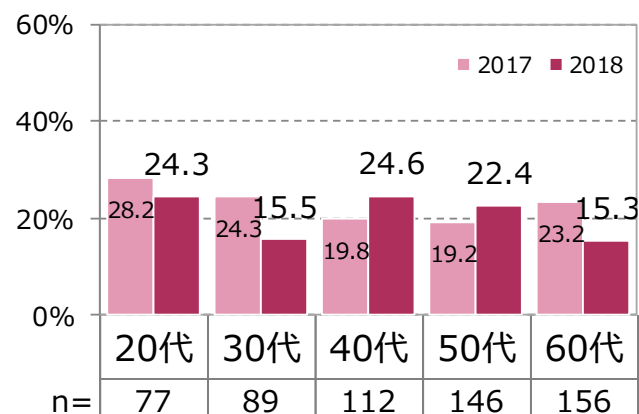


女性 n=580

＜全体＞



＜年代別＞ (TOP2スコア)



他者との
共有経験

- 男女ともに良かったことのスコアが全般的に上昇し、「特に良かったことはない」が低下。男性は「対策を知れた」「口コミが聞けた」など情報収集ができたことについて、女性は、「仲間が増えた」など悩みを共有できる相手が増えたことについて良かったと感じている人が多い。

男性

		2018 n=309	2017 357
1	知らなかった薄毛対策を知ることができた	 37.2%	29.7%
2	薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた	 33.4%	25.2%
3	悩みを相談できた/解決できた	 30.9%	21.3%
4	薄毛についてポジティブに考えられるようになった	26.7%	22.7%
5	相手と親しくなれた	26.2%	24.9%
6	薄毛について話せる仲間が増えた	19.9%	19.5%
	特に良かったことはない	 17.9%	25.6%

女性

		2018 n=117	2017 114
1	薄毛について話せる仲間が増えた	 30.3%	17.7%
2	知らなかった薄毛対策を知ることができた	22.3%	25.7%
3	薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた	 20.0%	15.0%
4	悩みを相談できた/解決できた	19.3%	23.9%
5	薄毛についてポジティブに考えられるようになった	17.3%	17.1%
6	相手と親しくなれた	14.2%	11.7%
	特に良かったことはない	 21.1%	29.5%

話して良かったこと
薄毛について

【年代別傾向】

- ・特に20～30代は話して良かったという実感が強い

A 普段やっている/今後やってみたい薄毛対策は？

↑前回比5pt以上アップ
↓前回比5pt以上ダウン

- 前回までと同様に、普段やっている対策は自宅でできるものが中心。
- やってみたい対策のスコアが前回までと比べて全般的に上昇しており、世間的に薄毛対策への関心が高まっている可能性が考えられる。

普段やっている薄毛対策

		2018	2017	2016
n=		1483	1549	1606
1	薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う	31.3%	27.5%	28.5%
2	育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤を使う（市販品）	29.6%	28.2%	28.2%
3	自宅で自分の手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	15.4%	13.8%	16.2%
4	市販の薬や漢方を使う	13.1%	9.9%	10.2%
5	生活習慣に気をつける	10.8%	10.2%	11.4%

今後やってみたい薄毛対策

1	育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤を使う（市販品）	↑23.4%	16.1%	19.9%
2	薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う	↑21.9%	12.9%	14.9%
3	薄毛治療のできる病院や専門クリニックで治療する	↑20.5%	15.1%	16.0%
4	薄毛専門サロンに行く	↑17.7%	8.7%	9.9%
5	市販の薬や漢方を使う	↑15.9%	10.0%	10.6%

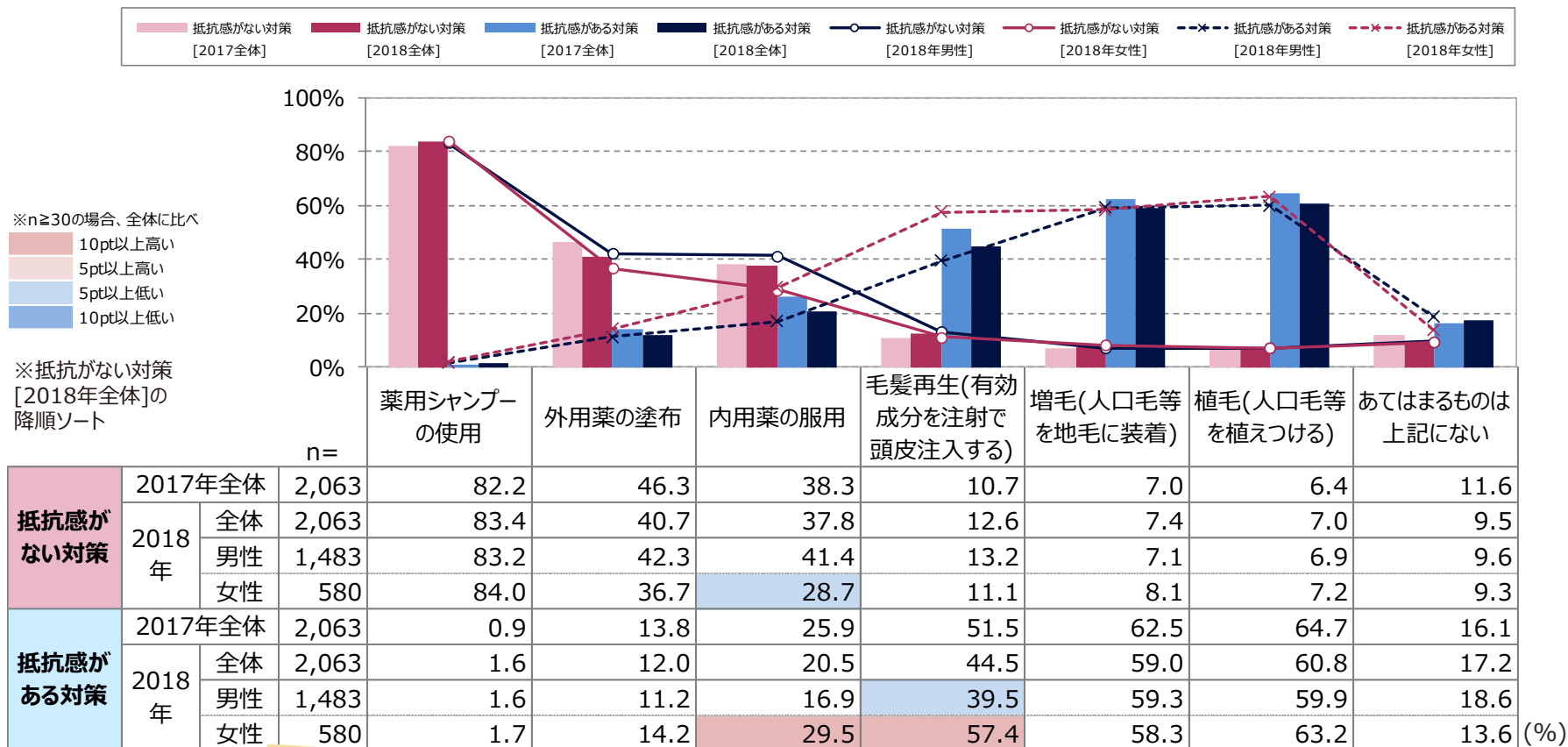
女性

		2018	2017	2016
n=		580	514	548
1	育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤を使う（市販品）	26.6%	29.1%	32.0%
2	自宅で自分の手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	21.7%	19.2%	21.6%
3	薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う	20.3%	22.2%	21.4%
4	生活習慣に気をつける	18.2%	15.4%	15.0%
5	美容室・理容室で相談する	10.0%	6.9%	3.9%

1	育毛エッセンス・育毛ローションや発育毛剤を使う（市販品）	↑28.2%	19.9%	23.4%
2	薄毛対策用シャンプーやトリートメントを使う	↑25.3%	15.0%	16.2%
3	ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く	↑22.1%	16.3%	15.5%
4	生活習慣に気をつける	↑21.1%	11.1%	9.8%
5	自宅で自分の手だけでヘッドスパ・ヘッドマッサージをする	↑16.8%	11.2%	12.7%

A 施術に対する抵抗感は？

- 前回同様に「薬用シャンプーの使用」は抵抗感がほとんどなく、「植毛」「増毛」「毛髪再生」は抵抗感が強い。ただし、「植毛」への抵抗感は前回より低下。
- 「植毛」「内服薬」に対する抵抗感は、女性の方が男性よりも強い。



【年代別傾向】男性20代は施術に対する抵抗感が全般的に低め

- 男女ともに「ネット検索」「TV・ラジオ」からの情報収集が多い。増加傾向にある情報源も男性は「ネット検索」、女性は「美容総合サイトや口コミサイト」であり、メディアやネットを通じた情報収集がよく行われている。
- 「理美容師への相談」は男女とも過去調査と大きな差はない。

男性

		2018 n=1483	2017 1549	2016 1606
1	インターネット検索	↑ 60.5%	55.3%	55.2%
2	TV・ラジオ	47.0%	48.5%	46.8%
3	雑誌	17.0%	16.0%	15.3%
4	新聞	14.3%	17.6%	18.1%
5	医師・薬剤師に相談する	13.4%	10.7%	7.4%
～				
9	美容師・理容師に相談する	9.6%	9.7%	8.6%

【年代別傾向】

- 20～30代は「ネット検索」「美容サイトや口コミサイト」「SNS・ブログ」などネットを活用している人が多め

女性

		2018 n=580	2017 514	2016 548
1	インターネット検索	53.1%	50.4%	47.6%
2	TV・ラジオ	43.6%	48.5%	53.8%
3	美容師・理容師に相談する	24.3%	21.9%	21.8%
4	美容総合サイトや口コミサイト	↑ 22.0%	16.1%	15.9%
5	知人（友人・家族・同僚など）から直接聞く口コミ	20.9%	19.1%	22.3%

【年代別傾向】

- 「理美容師に相談」は20～40代でより高め

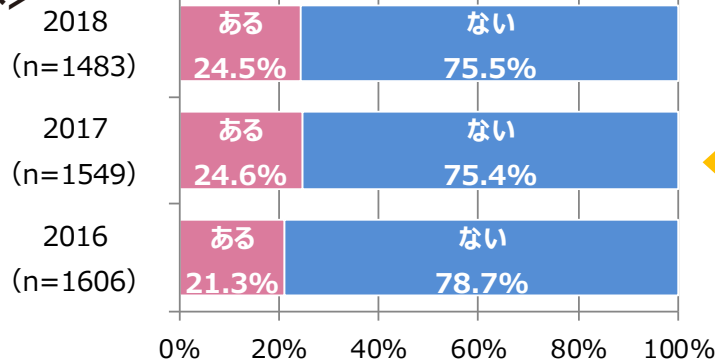
A サロンでの相談経験は？(全体ベース)

- 前回調査と同様に、相談経験がある人は女性の方が多い。
- 男性の相談経験がある人の割合は年代による差が大きく、若年層ほど多い。

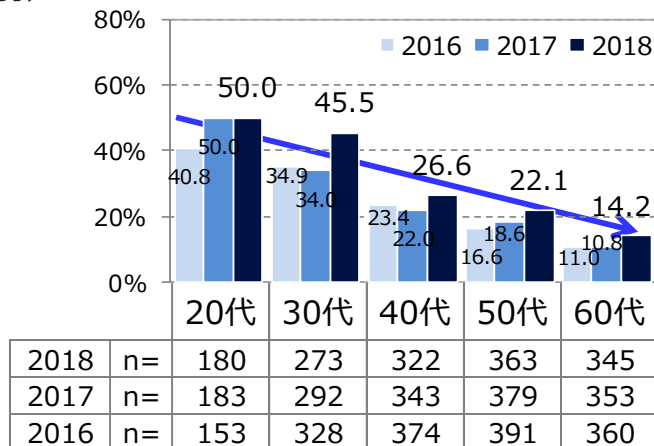
サロンでの相談経験

男性

<全体>

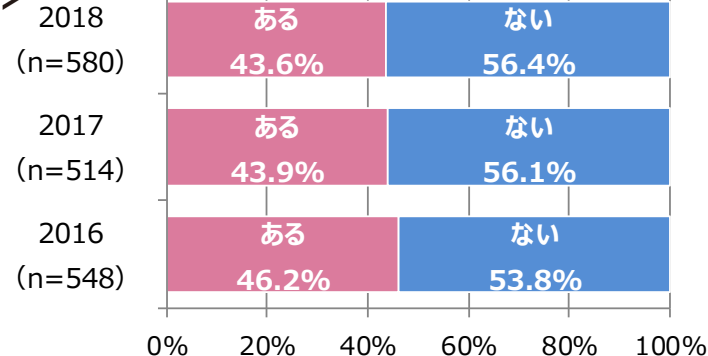


<年代別>

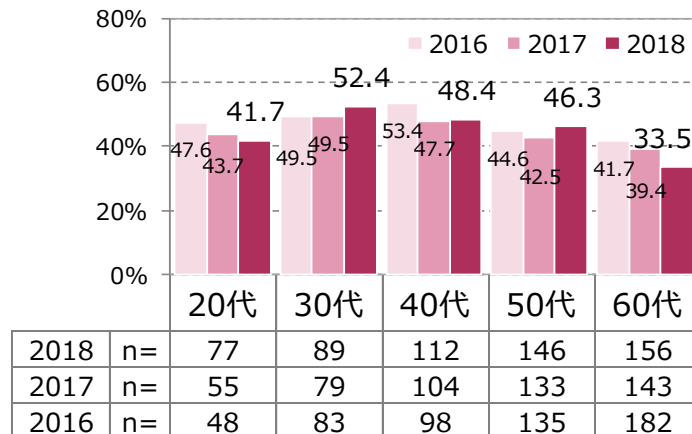


女性

<全体>



<年代別>



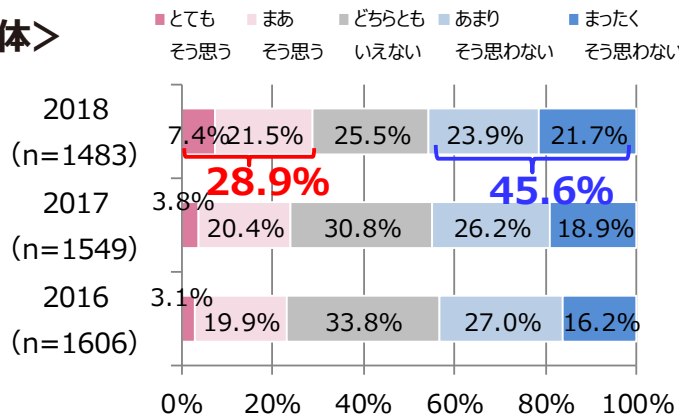
A サロンでの相談意向は？（全体ベース）

- 相談意向も、相談経験の有無と同様に男性よりも女性で高め。
- 男女ともに20～30代は4～5割が相談したいと考えている一方、男性は高年代ほど、女性は50～60代になると意向が低下する傾向にある。

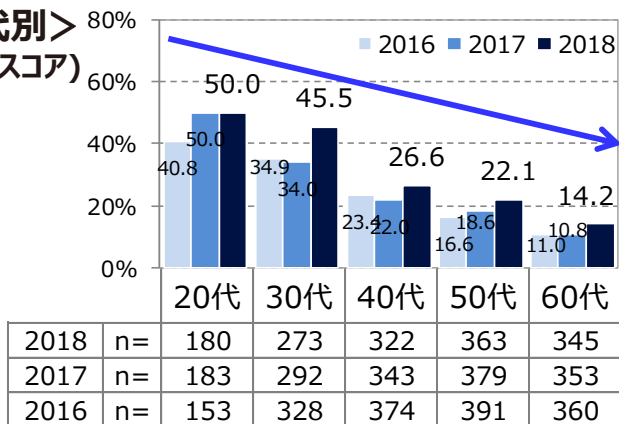
薄毛についてサロン相談意向

男性

<全体>

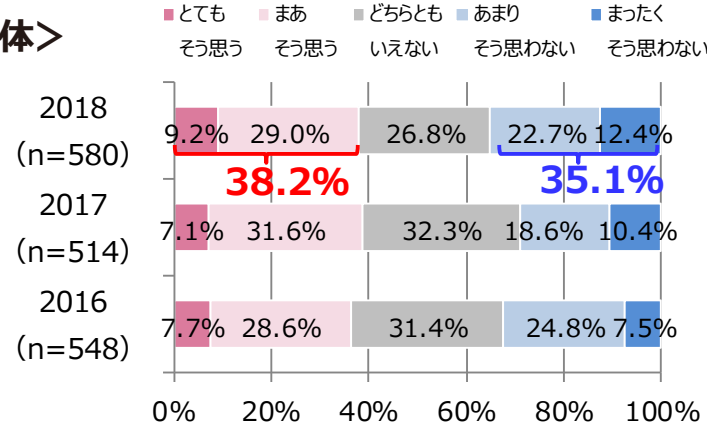


<年代別> (TOP2スコア)

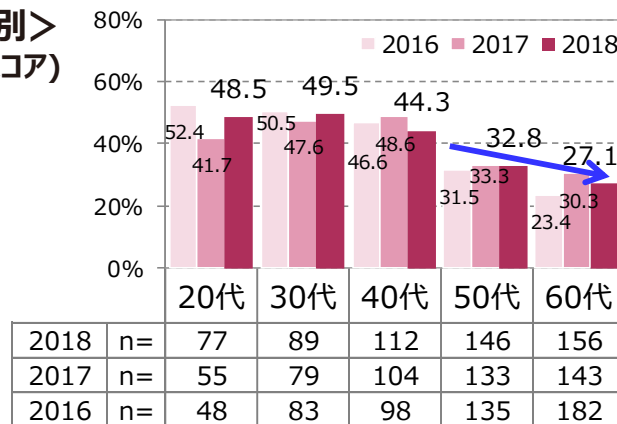


女性

<全体>



<年代別> (TOP2スコア)



A サロンでの相談意向なしの理由は？

↑ 前回比5pt以上アップ
↓ 前回比5pt以上ダウン

- 男性は「理美容室で相談することではない」がトップだが、スコアは前回までに比べ減少しており、「理美容室＝相談できる場所」という認識が高まったと考えられる。
- 女性では「親しくない」「商品売りつけられそう」など、心理的な距離感や不信感がハードルとなっている。

男性

		2018 n=675	2017 698	2016 695
1	美容室・理容室で相談することではないと思うため	45.3%	57.1%	55.6%
2	悩みを言えるほど親しくないため	30.6%	35.0%	33.8%
3	相談してもいいアドバイスがもらえないと思うため	27.5%	23.9%	27.0%
4	言い出すのが恥ずかしいため	23.1%	19.2%	20.3%
5	商品売りつけられそうな気がするため	16.9%	16.9%	17.1%

【年代別傾向】

- ・20代は「相談するほど親しくない」「恥ずかしい」と考えている人が多く、30代は「相談することではない」と考えている人が特に多い
- ⇒若年層で心理的なハードルが高め

女性

		2018 n=203	2017 149	2016 177
1	悩みを言えるほど親しくないため	45.1%	48.9%	36.8%
2	商品（シャンプー・トリートメント・ドライヤーなど）を売りつけられそう	36.8%	33.0%	40.3%
3	相談してもいいアドバイスがもらえないと思うため	33.7%	28.2%	34.6%
4	美容室・理容室で相談することではないと思うため	32.9%	30.9%	42.2%
5	言い出すのが恥ずかしいため	28.4%	30.0%	26.3%

【年代別傾向】

- ・50-60代は「恥ずかしい」と考えている人は少ない

サロンで相談したくない理由

A サロンで相談したくなる状況とは？(相談したくない人ベース)

↑ 前回比5pt以上アップ
↓ 前回比5pt以上ダウン

- 過去調査と同様、男女ともに相談意向なしの半数以上は「どんな状況でも相談したくない」と強い抵抗感を持っている。
- 女性は「カウンセリングシートがあれば」が2割弱まで上昇。口頭での相談はハードルが高くて、シート記述であれば悩みを伝えられそうと考える人が増えている。

サロンで相談したくなる状況

男性

	n=	2018 675	2017 698	2016 695
1	どんな状況でも相談したくない	65.1%	64.1%	58.1%
2	カウンセリングシートがあれば	11.2%	12.9%	15.0%
3	カウンセリングや施術中などに、髪の毛の悩みについて聞いてくれたら	10.4%	13.0%	12.8%
4	事前にネット上で悩みを伝えることができれば	10.0%	6.3%	7.1%
5	スタイリストとは別に、美容の悩みを相談できるサロンであれば	7.9%	8.1%	14.3%

【年代別傾向】

- 20代は回答している項目が多く、他年代と比べて相談に対するハードルが低い可能性がある

女性

	n=	2018 203	2017 149	2016 177
1	どんな状況でも相談したくない	52.7%	57.8%	45.8%
2	カウンセリングシートがあれば	17.9%	11.2%	12.1%
3	カウンセリングや施術中などに、髪の毛の悩みについて聞いてくれたら	17.6%	14.5%	20.4%
4	スタイリストとは別に、美容の悩みを相談できるサロンであれば	12.2%	15.4%	16.1%
5	事前にネット上で悩みを伝えることができれば	9.6%	5.0%	11.0%

	男性の特徴	女性の特徴
気になり出した年齢	- 女性よりも若干早め 【前回比】ややタイミングが早まる	- 男性よりも若干遅め 【前回比】ややタイミングが早まる
薄毛が気になり出したきっかけ	「鏡を見ていた時」が最も多い 「知人・友人から」の指摘が女性よりも多い 【前回比】「家族から」がアップ、「鏡を見ていた時」がダウン	「鏡を見ていた時」が最も多い。男性よりも髪が長い人が多く抜け毛が分かりやすいためか、「抜け毛の量を見た時」も男性比でやや高め 【前回比】「家族から」がアップ、「鏡を見ていた時」がダウン
気になる視線	「職場の異性」「異性の友人」など、配偶者・恋人以外の異性の視線を気にしがち	「他人の目すべて」が気になる人が男性よりも非常に多く、同性からの視線も気にしがち
普段使うファッションアイテム	気になる・気にならないを問わず、薄毛の人の「帽子」の使用率が高い	薄毛が気になる人の「帽子」使用率が高い
普段の洗髪に使うもの	女性よりも「ボディソープ・石鹸」が多い	男性よりも「シャンプー」が多い
理想の世界	女性よりも「薄毛がかっこイイ・カワイイという世界」が多い	男性よりも「あるがままを受け入れてくれる世界」が多い

男性の特徴

女性の特徴

薄毛を
分かち合う
ことがあるか

- 年代差が大きく、20～30代は分かち合う人が3～4割と多いが、40～60代は2割以下

- 30代・60代は分かち合う人が少なめ

薄毛について
話して
良かったこと

- 「知らなかった薄毛対策を知ることができた」「薄毛対策の口コミ・体験談が聞けた」など、**情報収集**に関する項目が女性よりも高め
- 【前回比】「対策を知ることができた」「口コミ・体験談が聞けた」「悩みを相談できた」が**アップ**

- 「仲間が増えた」が男性より高め
- 【前回比】「仲間が増えた」「口コミ・体験談が聞けた」が**アップ**

普段やっている
薄毛対策

- 「薄毛対策用シャンプーやトリートメント」「市販の薬や漢方」などの使用が女性より多い

- 「自宅でヘッドスパ・マッサージをする」「生活習慣に気を付ける」人が男性より多い

今後
やってみたい
薄毛対策

- 「薄毛専門サロン」「市販の薬や漢方」への興味が女性よりも高い

- 「ヘッドスパ・マッサージ(自宅や理美容室で実施)」「生活習慣に気をつける」への興味が男性よりも高い

施術のハードル

- 「植毛」「内服薬の服用」への抵抗感が女性よりも弱い

- 「植毛」「内服薬の服用」への抵抗感が男性よりも強い

	男性の特徴	女性の特徴
薄毛対策の情報源	- インターネットやメディアを通じた情報収集がメインで、「理美容師に相談」はあまり出来ていない 【前回比】「インターネット検索」がアップ	「理美容師に相談」「知人の口コミ」など、周囲の人経由での情報収集が男性より多い 【前回比】「美容総合サイトや口コミサイト」の利用がアップ
サロンでの相談経験	「相談経験あり」は約25%と女性より低め	「相談経験あり」は4割強 【前回比】60代の相談経験率がダウン
サロンでの相談意向	「相談意向あり」は3割弱と女性より低め 【前回比】30代の意向が約10ptアップ	「相談意向あり」は4割弱
サロンで相談したくない理由	「理美容室で相談することではない」という意識が女性より強め 【前回比】「理美容室で相談することではない」がダウン	「悩みを言えるほど親しくない」「商品売りつけられそう」が男性より高め 【前回比】「相談してもいいアドバイスがもらえない」がアップ
サロンで相談したくなる状況	「どんな状況でも相談したくない」が6割強と女性より抵抗感が高め	- 男性よりも抵抗感が弱め 【前回比】「カウンセリングシートがあれば」がアップ、「どんな状況でも相談したくない」がダウン

男性の特徴

- 髪の悩みのヒアリングをきっかけに、自分から言い出しにくい若年層の相談に乗る
 - ✓ 20代は相談意向が他年代より高い一方で、自分から薄毛について話すことへの心理的障壁も大きい
 - ⇒施術中に悩みを聞いてくれたら相談できそうという人が3割いるため、サロン側から髪の悩みがないかアプローチするのが効果的

サロン利用
アップへのヒント

女性の特徴

- 無料サービス範囲内で対策を提案
 - ✓ 髪型やヘアセットに悩む人が多い一方で、薄毛を相談することで追加の商品やサービスを売り込まれることへの不安が大きい
 - ⇒薄毛をカバーする髪型や自宅でできるヘアセットの提案など、追加料金不要の範囲内で悩みの相談に乗り、まずは安心感を醸成することが必要
- カウンセリングシートに薄毛に関する項目を入れる
 - ✓ カウンセリングシートがあれば相談してみたいと考えている人が全体の2割弱存在
 - ⇒口頭で自分から相談するよりも、シートに記入する方がハードルは低いと考えられるため、「薄毛」に関する項目をシートに入れることで、薄毛の悩みを発露しやすくなる